

## 福島県地球温暖化対策推進計画の各施策の実施状況と課題について

### 1 各施策の概要

- 県では、福島県地球温暖化対策推進計画（以下「計画」）に基づき、以下の「温室効果ガス排出抑制等に関する施策」と「気候変動の影響に対する適応策」を対策の両輪として推進。
- 地球温暖化対策は、県民一人一人のライフスタイルやビジネススタイルの見直しはもとより、製造工程の省エネルギー対策、環境配慮型住宅・建築物の導入促進、交通運輸対策、再生可能エネルギーの導入促進、これらを総合的・広域的に対応する地域づくり、森林の適正な整備や森林資源の有効活用など社会経済システムのあらゆる分野に及ぶことから、県民、事業者、団体及び行政等あらゆる主体が一丸となって県民運動として展開を図るとともに、県においては部局連携のもと全庁的に施策を実施。

#### 【温室効果ガス排出抑制等に関する施策】（緩和策）

（視点1）県民総ぐるみの省エネルギー対策（43施策）

施策：「福島議定書」事業等による省エネの取組、省エネ設備導入推進等

（視点2）再生可能エネルギーの飛躍的な推進（11施策）

施策：再エネアクションプランに基づく再エネ導入の推進等

（視点3）持続的な吸収源対策（14施策）

施策：新たな木材製品の需要の創出などによる森林整備の推進等

（視点4）環境・エネルギー産業の活性化（13施策）

施策：関係機関が連携した研究開発の推進や水素社会に向けた対応等

（視点5）未来のための環境・エネルギー教育（8施策）

施策：家庭や地域における省エネ意識醸成や最新の知見の普及等

（視点6）低炭素型の地域づくり（6施策）

施策：市町村を中心とした低炭素型地域づくりの取組推進等

#### 【気候変動の影響に対する適応策】（適応策）

本県の特性を踏まえ、特に影響の大きい「水災害・水資源」、「農林水産業」、「生態系」、「健康」の4分野について対策を推進。

分野	対策
水災害・水資源	○大雨発生数増加による災害リスク増大に対して 河川整備や減災体制の構築など、ハード・ソフト一体となった取組推進、県危機管理センターを中心とした総合的な災害対応

	○年間の無降水日の増加に対して ダム等が安定的に供給できる水資源量の把握、湯水時には関係者による迅速な情報共有
農林水産業	○気温上昇等による農作物等への影響に対して 高温耐性品種の開発や生産技術活用等推進
生態系	○気候変動による動植物種変化に対して 情報収集による実態の把握
健康	○気温上昇による熱中症リスク増大に対して クールシェアや予防策周知の取組推進

## 2 各施策の実施状況（点検結果）

計画第6章「3 計画の進行管理」(p83)に基づき、各施策の実施状況を点検した。

■計画の「表6-1 計画の進行管理のための指標一覧」(p84)に関する点検結果

- ：20 / 36 [指標全体の55%]
- △：8 / 36 [指標全体の22%]
- ×：7 / 36 [指標全体の20%]
- －：1 / 36 [指標全体の3%]

「達成状況」の判断基準

- ：最新の実績値が、令和2年度目標値に達しているもの。または、令和2年度目標値に達していないが、概ね順調に推移しているもの。【達成率：75%以上】
- △：最新の実績値が、令和2年度目標値に達しておらず、今後も達成がやや難しいもの。【達成率：60%以上75%未満】
- ×：最新の実績値が、令和2年度目標値に達しておらず、今後も達成が困難な可能性が高いもの。【達成率：60%未満】

## 3 課題

- 2017年度の本県における温室効果ガス排出量推計値は以下のとおりであり、現計画の目標（2020年度までに2013年度比▲25%、2030年度までに同▲45%）からは隔たりが大きい状況。

【2017年度の本県における温室効果ガス排出量推計値】

- ・総排出量（CO<sub>2</sub>換算） 17,673千t（2013年度比 ▲6.3%）
- ・調整後排出量（CO<sub>2</sub>換算） 16,486千t（2013年度比 ▲12.6%）
- 地球温暖化対策計画やエネルギー基本計画の見直し等、国の動きを注視するとともに、県民、事業者、市町村などあらゆる主体が一体となった県民総ぐるみの省エネルギー対策やリサイクルなど、温暖化対策を一層推進していく必要がある。

## 福島県地球温暖化対策推進計画の進行管理のための指標 点検表

**「達成状況」の判断基準**

- : 最新の実績値が、令和2年度目標値に達しているもの。または、令和2年度目標値に達していないが、概ね順調に推移しているもの。【達成率: 75%以上】  
 △: 最新の実績値が、令和2年度目標値に達しておらず、今後も達成がやや難しいもの。【達成率: 60%以上75%未満】  
 ×: 最新の実績値が、令和2年度目標値に達しておらず、今後も達成が困難な可能性が高いもの。【達成率: 60%未満】
- : 20/36 [指標全体の55%]  
 △: 8/36 [指標全体の22%]  
 ×: 7/36 [指標全体の20%]  
 -: 1/36 [指標全体の3%]

通し番号	指標名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標区分	目標値 (令和2年度)	達成状況 (※)	現状・課題 (目標を達成しない理由など)	今後の方向性 (指標の目標達成に向けた具体的施策など)	出典・根拠等	担当部局	担当課室
視点1 県民総ぐるみの省エネルギー対策														
1	「福島議定書」事業参加団体数 ・学校 ・事業所	学校 428校 事業所 1,704団体	学校 464校 事業所 1,426団体	学校 471校 事業所 1,507団体	学校 406校 事業所 1,594団体	学校 394校 事業所 1,705団体	↗	学校 900校以上 事業所 3,000団体以上	×	学校版については、市町村教育委員会への訪問や各学校への働きかけを強化したが、業務多忙等の理由により参加校数が減少した。 事業所版については、事業所や関係団体等を直接訪問して参加呼びかけを実施した結果、参加事業所数は増加したが、目標値とはまだ隔たりがある。	学校版については、教育事務所や学校の声を伺う機会を設けながら、参加意欲が増す工夫や負担軽減を進め、一層の参加促進に取り組む。 事業所版については、事業者の参加意欲向上に向けてSDGsとの関連付けを推進するとともに、引き続き地球にやさしい“ふくしま”県民会議を中心とした関係団体との連携によるPR活動や事業所等への訪問活動により、参加事業所増に取り組む。	福島県環境基本計画	生活環境部	環境共生課
2	一定の省エネルギー対策を講じた住宅ストックの比率	33.1% (平成25年度)	概ね5年ごとに実績をまとめるため、データ無し (R2予定)				↗	45% (平成37年度)	- (R2年度の目標値を設定していないため、評価しない)	平成30年度時点で38.0%。	本指標は、「二重サッシ又は複層ガラスの使用実績」により達成状況を判断しているが、住宅の省エネルギー対策の指標として直接的に馴染まないことから、今年度作業を進めている福島県住宅生活基本計画の改定において指標のあり方を検討しているため、本点検表から除外したい。	福島県住宅生活基本計画	土木部	建築住宅課
3	低公害車(次世代自動車)の普及台数	106,606台	137,600台	160,463台	182,490台	203,462台	↗	増加を目指す	○	国による減税政策や導入補助制度により、順調に普及が進んでいる。	環境負荷の少ない次世代自動車の普及促進を図るとともに、次世代自動車の充電インフラの整備を促進するため、市町村など関係団体への働きかけを継続する。	福島県環境基本計画	生活環境部	環境共生課
4	営業用貨物自動車輸送トン数比率	58.8%	60.0%	62.0%	62.8%		↗	63.0%以上	○	実績値は順調に推移している。	環境負荷の低減、消費エネルギーの低減等に関する普及啓発の推進により、実績値の向上に努める。	福島県環境基本計画	生活環境部	生活環境総務課
5	マイバッグ推進デー協力店 1,327店	1,327店	2,061店	2,060店	2,252店	2,254店	↗	2,000店以上	○	目標値を超えて多くの事業者に参加していただいております、今後もさらなる参加を呼びかけます。	マイバック推進デーキャンペーンによる呼びかけを継続する。 なお、本年7月から始まったレジ袋有料化により、マイバッグ利用は定着しつつある。	福島県環境基本計画	生活環境部	環境共生課
6	一般廃棄物のリサイクル率	13.9%	13.6%	13.3%	12.9%	(平成30年度分が最新)	↗	21.0%以上	△	古紙の回収率が落ちていることや、スーパーなど民間における資源回収量が増加していることが一因として考えられる。	引き続きスーパーなどの民間における資源回収量の実態を調査するとともに、市町村と連携しながら、リサイクル率が向上しない原因や課題を検証し、実効性のある施策を進める。	福島県環境基本計画	生活環境部	一般廃棄物課
7	産業廃棄物再生利用率	50% (平成26年度)	49%	50%	50%	51%	↗	51%以上	○	引き続き、再生利用等を推進する取組が必要である。	取組を継続する。	福島県廃棄物処理計画	生活環境部	産業廃棄物課
8	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定済の市町村数	6市町村		4市 (再調査実施)	10市町村	10市町村	↗	20市町村以上	×	令和2年度は10市町村が計画策定予定である。	県内市町村の省エネ計画の策定率は令和2年度でも約3割にとどまることから、引き続き市町村の計画策定を支援していく。	-	生活環境部	環境共生課
視点2 再生可能エネルギーの飛躍的推進														
9	再生可能エネルギーの導入量(県内エネルギー総需要に占める割合)	27.30%	28.20%	30.30%	31.80%	34.70%	↗	40.2%以上	△	再エネビジョンの目標達成に向け更なる導入推進を図る。	阿武隈地域の再エネの大量導入を着実に図ることにより、目標達成を図る。	ふくしま新生プラン	企画調整部	エネルギー課
10	住宅用太陽光発電設備の設置数	40,125件	44,827件	48,300件	52,222件	55,614件	↗	70,000件以上	△	再エネビジョンの目標達成に向け更なる導入推進を図る。	既設住宅等への積極的な導入支援を図る。	ふくしま新生プラン	企画調整部	エネルギー課
11	県有施設への再生可能エネルギー率先導入数(累計)	78か所	91か所	123か所	129か所	135	↗	100か所以上	○	再エネビジョンの目標達成に向け更なる導入推進を図る。	さらに県有施設へ再生可能エネルギーの導入を図る。	福島県環境基本計画	企画調整部	エネルギー課
12	木質燃料使用量	599千トン	585千トン	586千トン	645千トン	631千トン	↗	880千トン以上	△	目標値には達しなかったものの、木質バイオマス利用施設は今後も整備計画があるため、利用料は増大が見込まれる。	引き続き木質バイオマス燃料の利用促進に努める。	ふくしま農林水産業新生プラン	農林水産部	林業振興課

通し 番号	指標名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標 区分	目標値 (令和2年度)	達成状況 (※)	現状・課題 (目標を達成しない理由など)	今後の方向性 (指標の目標達成に向けた具体的施策など)	出典・根拠等	担当部局	担当課室
視点3 持続的な吸収源対策														
13	森林整備面積	5,825ha	6,406ha	5,992ha	6,037ha	5,707ha	↗	14,000ha以上	×	森林所有者の経営意欲の減退に加え、台風災害発生から、森林所有者等による自主的な森林整備が震災前の水準に達していない。	事業主体への継続的な技術支援を行うほか、林業労働者を確保する。森林整備への理解促進及び集約化による実施区域の拡大を図る。	ふくしま農林水産業新生プラン	農林水産部	森林整備課
14	1人当たりの都市公園面積	12.77 m <sup>2</sup> /人 (平成28年3月)	13.1 m <sup>2</sup> /人 (平成29年3月)	13.4m <sup>2</sup> /人 (平成30年3月)	13.7m <sup>2</sup> /人 (令和元年3月)	R元の指標が出ていないため未記入	↗	13.10 m <sup>2</sup> /人以上	○	防災緑地の整備等により、目標値を達成している。	引き続き、緑地の保全・創出に努める。	ふくしまの未来を拓く県土づくりプラン	土木部	まちづくり推進課
15	保安林指定面積	114,068ha	114,093ha	114,347ha	114,398ha	114,488ha	↗	124,500ha以上	○	治山事業や海岸防災林造成事業実施による保安林指定が今後も見込まれる。	引き続き、パンフレット等により保安林制度の周知及び理解を促進し、計画的に保安林指定を進める。	ふくしま農林水産業新生プラン	農林水産部	森林保全課
視点4 環境・エネルギー産業の活性化														
16	再生可能エネルギー関連産業の工場立地件数	19件 (平成25年～平成27年の累計)	26件	32件	39件	49件	↗	70件以上 (平成25年～令和2年の累計)	△	再生可能エネルギーを利用した発電施設は年々増加しているものの、本件の対象となる発電施設等の製造工場の立地については、目標どおり進んでいない。	引き続き、各種優遇制度や技術開発支援、事業化に向けた取り組みの支援を行うとともに、産総研福島再生可能エネルギー研究所やエネルギーエージェンシーふくしまと連携を図りながら、新規参入や事業拡大を目指す企業の掘り起こしを行うなど、関連産業の育成・集積を推進していく。	福島県商工業振興基本計画	商工労働部	企業立地課
17	再生可能エネルギー関連産業販路開拓等支援数	105件	100件	122件	136件	123件	↗	135件以上	○	地方最大級の再生可能エネルギー展示会として定着しており、ビジネスの場として認知されている。今後も、継続的に実施するとともに、成果を最大化するため、商談会を実施する等、内容を充実させていく必要がある。	引き続き、展示会を開催していく。	福島県商工業振興基本計画	商工労働部	産業創出課
視点5 未来のための環境・エネルギー教育														
18	うつくしま地球温暖化防止活動推進員の活動回数	571回	527回	422回	331回	304回	↗	850回以上	×	推進員の高齢化に加えて、あくまで推進員のボランティア活動によることが活動回数の減少の要因と考えられる。	地球温暖化防止活動推進センターのネットワークを活用して、新規希望者の掘り起こしを行うとともに、活動の場のニーズを把握し、推進員とのマッチングを図る。	福島県環境基本計画	生活環境部	環境共生課
19	環境アドバイザー等派遣事業受講者数	25,921人	27,697人	28,415人	29,387人	30,190人	↗	28,000人以上	○	海洋プラスチックなど、多様な環境問題に関心が寄せられているため、それらへ対応できるアドバイザーの確保が必要である。	多様な環境問題に対応できるアドバイザーの確保に努めるとともに、引き続き、県民へ環境教育・学習機会を提供していく。	福島県環境基本計画	生活環境部	生活環境総務課
視点6 低炭素型の地域づくり														
20	渋滞対策実施箇所	4箇所	5箇所	5箇所	8箇所	10箇所	↗	8箇所	○	渋滞解消・緩和に向けた対策の実施により、目標値を達成している。	引き続き渋滞解消に向けた道路整備を進めていく。	ふくしま道づくりプラン	土木部	道路整備課
21	自転車道の整備延長	89.5km	89.5km	90.7km	93.1km	109.1km	↗	101.0km	○	自転車走行空間整備により、目標値を達成している。	自転車利用の推進と併せて、引き続き自転車走行空間整備を進めていく。	ふくしま道づくりプラン	土木部	道路整備課
気候変動の影響に対する適応策 全体的な適応策														
22	「適応策」について策定済みの市町村数	0市町村	0市町村	0市町村	0市町村	0市町村	↗	10市町村以上	×	県内市町村への地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定支援に合わせて、気候変動適応策の策定についてもPR活動を実施した。2市町で気候変動適応策の検討作業が進行中。	気候変動適応に係る市町村の支援に資するよう気候変動適応センターの設置を検討する。	—	生活環境部	環境共生課
23	クールシェアスポット登録数	—	—	355施設	400施設	414施設	↗	450施設以上	○	民間企業及び市町村への訪問等によるPR活動により登録数が増加した。	引き続き協力施設の拡大と利用促進に取り組む一方で、新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式を踏まえた検討が必要である。	—	生活環境部	環境共生課

通し 番号	指標名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標 区分	目標値 (令和2年度)	達成状況 (※)	現状・課題 (目標を達成しない理由など)	今後の方向性 (指標の目標達成に向けた具体的施策など)	出典・根拠等	担当部局	担当課室
気候変動の影響に対する適応策 水災害・水資源														
24	都市浸水対策達成率	38.20%	38.30%	38.50%	38.70%	38.80%	↗	40.5%以上	○	平成30年度時点での達成率は95.5%であり、目標値を概ね達成している	雨水浸水対策は社会資本整備総合交付金等の重点配分項目であり、今後も目標値達成のため雨水浸水対策を進めていく。	ふくしまの未来を拓く県土づくりプラン	土木部	下水道課
25	土砂災害警戒区域指定率	35.60%	40.4%	47.9%	61.3%	76.6%	↗	50%以上	○	計画どおり土砂災害防止法に基づく基礎調査の実施及び調査結果の公表を全箇所完了するとともに、土砂災害警戒区域等の指定推進を図った。	継続して区域指定の推進を図るとともに、高精度な測量データを活用することにより、新たな土砂災害危険箇所の把握に努める必要がある。 併せて、地域住民が危険性を認識できるよう標識を設置するとともに、住民説明会や出前講座等により土砂災害の危険性について周知する必要がある。	ふくしまの未来を拓く県土づくりプラン	土木部	砂防課
26	防災緑地を設置した箇所数		1箇所 (平成28年12月)	3箇所 (平成30年3月)	7箇所 (平成31年3月)	9箇所 (令和2年3月)	↗	10箇所以上	○	令和2年7月に10箇所目の設置が完了している。	設置した防災緑地の保全に努める。	ふくしまの未来を拓く県土づくりプラン	土木部	まちづくり推進課
27	海岸防災林整備延長	4,730m	5,190m	7,190m	10,380m	13,500m	↗	16,800m以上	○	海岸堤防の復旧など他事業との調整が遅れていることから、目標達成はやや困難な状況である。	用地買収が進んだことにより、今後工事の進捗が図られ、目標値に近づくものと想定される。	ふくしま農林水産業新生プラン	農林水産部	森林保全課
28	水の供給可能量	466,163 万m <sup>3</sup> /年 (平成22年度)				455,973 万m <sup>3</sup> /年 (平成27年度)	↗	467,697 万m <sup>3</sup> /年	○	水需給のバランスは供給量が需要量を上回っており、この傾向は今後も継続すると予測される。	限られた水資源を有効に活用するため、既存水利施設の積極的な活用を図る。	新生ふくしま水プラン	企画調整部	復興・総合計画課
29	水質環境基準達成率(河川のBOD及び湖沼、海域のCODの総合)	95.30%	93.20%	93.29%	92.00%	92.00%	↗	100%	○	河川、海域についてはほぼ達成しているが、湖沼については達成率の改善がみられない。湖沼の水質改善が課題である。	引き続き水質のモニタリングを行うとともに、各種水環境保全活動等を推進する。	福島県環境基本計画	生活環境部	水・大気環境課
気候変動の影響に対する適応策 農林水産業														
30	農産物検査におけるうるち米の一等米の比率	90.50%	94.60%	91.30%	94.40%	90.40%	↗	95% (平成29年度)	○	令和元年産米は全国で高温障害による品質低下がみられる中、本県産米は全国平均73.0%と比較し17.4ポイント高い1等米率を確保した。	高温時における水管理等の基本技術の励行。	福島県の水田農業の振興方策	農林水産部	水田畑作課
31	大消費地へのふくしまの「顔」となる青果物の供給量	36,124t	34,065t	31,260t	31,467t	32,845t	↗	45,000t以上	△	各種事業により、消費者並びに流通関係者に対し、県産農産物の魅力のPRに努めたものの、目標値には達しなかった。	県産農産物等のフェアの開催や販売コーナーの設置、商談会やバイヤーツアーの実施などを通じて県産農産物等の信頼回復に努め、販売網の回復と拡大を図る。	ふくしま農林水産業新生プラン	農林水産部	農産物流通課
32	農作業死亡事故年間発生件数	13件	10件	9件	7件	8件	↘	8件以下	○	・60歳以上の死亡事故が8割以上 ・令和元年8月に熱中症とみられる死亡事故が発生	・農作業安全運動の継続 ・県HPや広報媒体による広報	ふくしま農林水産業新生プラン	農林水産部	農業担い手課
気候変動の影響に対する適応策 生態系														
33	生物多様性について理解している人の割合	-	29.2%	-	29.20%	19.70%	↗	70%以上	×	ホームページへの掲載のみであり、その他の媒体での周知を行っていないため。	野生生物共生センターや環境創造センター等環境教育で活用される施設へのポスターやチラシの設置を検討し、訪れた県民の方へ周知を行う。	ふくしま生物多様性推進計画	生活環境部	自然保護課
34	尾瀬において自然環境学習を行った県内児童・生徒数	980人	860人	558人	718人	486人	↗	1400人以上	×	制度の認知不足や、学校の課外授業に活用する時間の減少などが要因と考えられる。	県内小中学校や関係団体に向け制度チラシを配布し周知を図る。	ふくしま生物多様性推進計画	生活環境部	自然保護課
35	有害鳥獣による農作物被害額	128,460千円	168,152千円	143,156千円	167,387千円	集計中	↘	77,500千円以下	△	防護柵設置や環境整備、加害している個体の捕獲やニホンザルの群れ管理など、総合的な取り組みを適切に行い被害減少させた事例がある一方で、生息域拡大の最前線で被害がこれまでなかった地域や、地域合意が得られず対策が遅れた地域では被害が増加傾向にある。	配置されている鳥獣被害対策の市町村リーダー(専門職員)による対策活動の推進や専門家による助言を基にした対策活動の立案等により、総合的な対策による鳥獣被害の減少を目指す。	ふくしま農林水産業新生プラン	農林水産部	環境保全農業課
気候変動の影響に対する適応策 健康														
36	県内4箇所の救命救急センターまで60分以内で到達できる範囲(道路整備により60分以内で到達可能にすることができる最大限の範囲に対する達成割合)	98.4%	98.4%	98.4%	98.4%	98.4%	↗	100%	△	いわき石川線の一部が整備中であるため。	引き続き道路整備を進めていく。	ふくしま道づくりプラン	土木部	道路計画課